

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	教養・基礎教育部門						
科目名	倫理哲学 Ethics and Philosophy						
科目区分	人間形成科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	安居 誠 Makoto YASUI						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的方法の基礎を習得する。 ・学問や知的探求全般を規定しているエトスを自覚する。 ・「すじみち」という点で、論理と倫理が親和性を持つことに気づく。 ・近代以降の倫理思想の特徴を構造的に理解する。 						
日程と内容	4/12 導入講義：哲学とは何か 4/19 4つの哲学素 4/23 デカルトの夢と二進法 4/26 「ならば」の周辺 5/10 「または」の意味 5/17 論理演算と悪魔のパズル 5/24 真理条件と意味論 5/31 帰納法の謎 6/7 エメラルドは何色か 6/14 「正しさ」について 6/21 ソクラテスの問い 6/28 黄金律と定言命法 7/5 普遍法則としての道徳 7/12 倫理と政治性 7/19 まとめと演習 7/26 定期試験						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験	10%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	ほぼ、達成できたように思います。						
反省点	合格率が前年や他クラスと比べて、かなり低いように思います。アンケートの評価理由の欄にある「難しい」、「わからない」などの言葉が気になります。						
来年度の計画	上記の反省点を踏まえて、来年度の講義では、抽象的な理論を、可能な限り具体的な問題状況に落とし込んで学生に提示し、議論に巻き込んでいきたい。「難しい問題」をむやみに易くするのは考えものですが、自分の問題として考えてもらうことは可能だと思います。						
授業評価アンケートに対するコメント	評価理由の欄に、「倫理哲学なのに哲学ばかりだったので倫理の話もききたかったです」とありました。他クラスでも、同じ趣旨の記述が(やはり一名だけでしたが)見られます。来年度は担当する科目が増えるので、内容の分担をし、要望に応えたいと思います。						
履修登録者数	132名	定期試験 受験者数	120名	合格者数	93名	合格率	78%